

兼島拓也作・栗山民也演出新作公演 出演者オーディション募集要項

那覇文化芸術劇場なは一とでは、2026年10月那覇市主催にて上演予定の兼島拓也作・栗山民也演出新作公演の出演者を募集します。

つきましては、以下の通りに書類審査を経てオーディションを実施いたしますので、ぜひご応募ください。

制作上の都合により募集する役柄（俳優）の年齢設定が変更となりました。
何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。改めて以下の詳細を確認下さい。

1. 公演概要

公演名：兼島拓也作・栗山民也演出新作公演（仮）

演出：栗山民也 作：兼島拓也

公演日程：2026年10月23日(金)～25日(日)

会場：那覇文化芸術劇場なは一と 小劇場

2. 募集内容

戦後13年（1958年）の沖縄、大湾家を舞台にした物語。

主演2名を募集します。

●大湾暁子（おおわん あきこ）：24歳に見える女性。

劇中年齢24歳（1958年時点）。家族の家計と母の介助を担う。

●大湾佳純（おおわん よしずみ）：14歳に見える男性。

暁子の兄。1945年に14歳で没。死者（亡霊）として登場。

※応募者が学生の場合は稽古時間の調整あり。

3. 応募資格

沖縄在住の俳優および沖縄出身の俳優。

2026年9月中旬からの稽古および、リハーサル、ゲネプロ、本番など、全日程に参加可能な方。

4. 稽古および条件

稽古日程：2026年9月16日(水)予定～10月中旬

稽古時間：13時～19時の間を予定（休日調整あり）

※佳純役の俳優が学生の場合は稽古時間の調整を行う場合があります。

場所：那覇文化芸術劇場なは一と（大スタジオ等）

出演料：あり（経験や条件に応じて支給）

5. オーディション詳細

日程：2026年2月28日(土) 時間：13:00開始～17:00（予定）

会場：那覇文化芸術劇場なは一と 3階 大スタジオ（〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-26-27）

※一般駐車場はございません。公共交通機関または、近隣の有料駐車場等をご利用ください。

※二輪（バイク・自転車）専用駐車場は若干台数ございます。

6. 応募方法

応募用紙を提出

提出方法：郵送・E-mail・なは一と事務所窓口へ直接提出のどちらかをお選びください。

応募用紙はアニメ・エージェンシー公式サイト、なは一とWEBサイトよりダウンロード



締切：2026年2月20日（金）17:00 必着

アニメ・エージェンシー
公式サイト

なは一とWEBサイト

送付先：アニマ・エージェンシー（担当：下島）
〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉 2-18-4
E-Mail：sim@anima-agency.jp



※応募の際にいただいた個人情報は、本事業に関する事柄にのみ使用し、第三者に提供することはありません。

7. 選考方法

第一次書類審査を行い通過者には数日中に連絡します。

※審査内容についての問合せは受付ません。

最終オーディション審査…「5. オーディション詳細」をご確認ください。

8. 問い合わせ先

アニマ・エージェンシー 090-2730-8576（下島）
那覇文化芸術劇場なはーと 098-861-7810（10:00～19:00）※2/2、2/16 は休館

9. クレジット・助成

主催：那覇市 企画：アニマ・エージェンシー
制作：Theater TEN Company 企画制作：那覇文化芸術劇場なはーと
助成： 文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）
 独立行政法人日本芸術文化振興会

※本事業（次年度事業）は、令和8年2月那覇市議会での予算議決の結果により、事業を延期または中止する場合があります。

●栗山民也

1975年 早稲田大学文学部卒業。
1980年 ベケット作『ゴドーを待ちながら』を第一作とし、その後、井上ひさし作『日本人のへそ』『國語元年』『黙阿弥オペラ』などを演出、注目を集める。
1996年 『GHETTO/ゲッター』の演出で第30回紀伊国屋演劇賞個人賞、第3回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第46回芸術選奨文部大臣新人賞受賞。
1998年 新国立劇場芸術参与。
1999年 『エヴァ、帰りのない旅』で第40回毎日芸術賞・第1回千田是也賞、第6回読売演劇大賞最優秀演出家賞受賞。
2000年～2007年 新国立劇場演劇部門の芸術監督を務める。
2005年～2016年 新国立劇場演劇研修所所長を務める。
2002年 第1回朝日舞台芸術賞受賞。『喪服の似合うエレクトラ』で第4回朝日舞台芸術賞グランプリ。
2013年 紫綬褒章を受章。
2019年 『チルドレン』『母と暮らせば』の演出で第26回読売演劇大賞と最優秀演出家賞を受賞。
2023年 旭日小綬章を受章。
2024年 『PARCO PRODUCE 2024 オーランド』
2025年 『フロイスーその死、書き残さずー』
『明日を落としても』
オペラでは、新国立劇場オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』日生劇場開場50周年記念公演『リア』、60周年記念公演『メデア』などを手がける。
著書に『演出家の仕事』（岩波新書）がある。

●兼島拓也

1989年 沖縄県生、在住。
2013年に演劇グループ「チョコ泥棒」を結成し、脚本と演出を担当。沖縄の若者言葉を用いた会話劇を得意とし、コメディやミステリを軸としたオリジナル脚本の上演を行う。また、琉球舞踊家との演劇ユニット「玉どろぼう」としての活動も行う。脚本家として2018年、『Folklore（フォークロア）』で、第14回おきなわ文学賞シナリオ・戯曲部門の一席を受賞。その他2作品で同賞の佳作受賞。2021年NHK-FMシアター『ふしぎの国のハイサイ食堂』で、第31回オーディオドラマ奨励賞・入選。2022年、『ライカムで待って』で、第30回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。同作で第26回鶴屋南北戯曲賞および第67回岸田國士戯曲賞の最終候補となり、2024年に再演。また同年『刺青/TATTOOER』を日本、英国上演や作・共同演出した『花売の緑オン（ザ）ライン』は、第69回岸田國士戯曲賞の最終候補となる。